

令和6年度 第2回 入野中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月15日（火） 9時30分から12時00分まで
- 2 開催場所 入野中学校 大会議室
- 3 出席委員 田口 章、大塚 哲雄、田澤 健司、御室 福二、齋藤 良夫、
幅 あけみ、内藤 明子、村上 さくら
- 4 欠席委員 岡田 光弘
- 5 オブザーバー 松下 正行（浜松市議会議員）、徳増 宏之（入野協働センター長）
- 6 学 校 上田 高之（校長）、高橋 知己（教頭）、
大庭 孝仁（主幹教諭・CS担当）、久保 理絵香（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 久保 理絵香
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、内藤委員から田澤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校行事の開催の仕方について
- （2）不登校生徒の現状について
- （3）部活動地域移行について
- （4）学校評価アンケートについて

12 会議記録

司会の高橋教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校行事の開催の仕方について

議長の指示により大庭主幹から、別紙資料に基づき学校行事の開催方法の現状と課題について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 良い施設で合唱コンクールを行うことは、子供たちにとって大変貴重なことだと思う。交通費に驚いたが、経験には代えられない。今後、アクト改修もあるため、先を見通して様々な可能性を考えていけるとよい。
体育大会は10月になると地域の行事と重ならないか考慮しなくてはいけない。平日がよいか、土日がよいかも含めて検討していくとよい。（田口委員）
- ・ アクトでの合唱コンクールは、生徒にとっても保護者にとっても良い経験になっているので、バス移動に交通費がかかっても、大きなホールで開催できるとよいと思う。また、3年間の中で、アクトもサーラホールも経験できるとよい。（村上委員）
- ・ 以前行っていた、3年に一度のアクトでの合唱コンクールは、生徒にとってとても思い出に残るものだった。毎年でなくてもよいので、中学校3年間の中で一回、アクトのホールを経験できればよいと思う。
また、サーラホールは駐車場が少ないため、入野中の規模だと難しいのではないかな。距離も遠くなるため交通費も高くなる。（幅委員）
- ・ 施設使用料や交通費等、かかる費用に驚いたが、現状で費用が賄えているなら、このままアクトで開催でもよいのではないかな。（内藤委員）
- ・ 現在かかっているバス代を考えると、現地集合、現地解散も視野に入れて検討してもよいのではないかな。（齋藤委員）

- ・市営陸上競技場で体育大会を実施している学校では、生徒も保護者も満足度は高いようである。ただし、駐車場が少ない等の問題もある。今後、施設の移設や再建などの可能性もあるので、問題が改善されれば、使用を考えてもよいと思う。また、市の施設については、市で助成ができるとよいと思う。（松下議員）
 - ・生徒にとっては、一つ一つの行事が一生に一度の思い出になる。体育大会では、陸上競技場で走らせることが本当に生徒のためなのかなど、行事の目的などの根本の部分をよく考えて検討してほしい。学校で開催し、多くの保護者や地域の皆さんに見てもらおうということにも大きな価値があると思う。（大塚委員）
 - ・アクトでの合唱コンクールでは、生徒が生き生きしている姿が見られてとても良かった。入野中の文化として続けていけたらよいと思う。（御室委員）
 - ・行事は学校教育の一環であり、待ち時間も移動時間も教育の場として考えてほしい。行事にかかる費用に関しては、保護者の負担は少なくしたほうが良い。また、行事を行う上でも、地域との関係を大切にしてほしい。
- これらの3つを視点において、学校で検討をしてほしい。（大塚委員）

（２）不登校生徒の現状について

議長の指示により、上田校長から、不登校生徒の現状と対応について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・きちんとデータを取って分析し、対応していることはすばらしい。学校はこのように取り組んでくれているので、委員の皆さんにフォローアップしてほしい。（大塚委員）
- ・浜松市の不登校数は増加している。他地域での取り組みを参考に、浜松市でも学校以外の場所で生徒を受け入れていくことなどを考えているため、地域でも受け入れる場所を作って支えてほしい。不登校の問題は、学校だけで対応することは無理である。選択肢を増やし、社会とのつながりをもてるようにしていけたらよい。（松下議員）
- ・県でも、不登校に関しては問題視している。ポータルサイトもあるので周知してほしい。バーチャルスクールの取り組み等も予定している。（田口委員）
- ・周囲にも不登校の生徒さんがいるが、自分の選択で学校に行っていない生徒を、社会が認めていけるようになれば生きやすいのではないかなと思う。（村上委員）
- ・学校経営方針にもあるように、「だれ一人取り残さない」という考えが大事だと思う。学校に来ることだけでなく、地域行事に参加してもらうなど、地域の中で社会との関りをもってくれたらよい。この協議会でも、地域にそのような生徒を受け入れる場をどのように作っていくかを考えていくことが大事だと思う。（大塚委員）

（３）部活動地域移行について

議長の指示により、上田校長から、今後の部活動地域移行について説明があった。委員から、以下の発言があった。

- ・指導員の配置やケガの問題等、課題がたくさんあり、まだ議論中の問題であるため、今後方針がはっきりしてきたら再度熟議していきたい。（大塚委員）

（４）学校評価アンケートについて

議長の指示により、大庭主幹から、本年度の学校評価アンケートについて説明があった。

その他報告事項等

- ・村上委員より、CS研修会についての報告があった。
- ・高橋教頭より、学校運営協議会自己評価の実施について、説明があった。
- ・司会から、次回会議は、令和7年2月27日（木）午前9時30分から大会議室で開催する旨の報告があった。